

# だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里

「だいち」広報委員会

〒349-0101

埼玉県蓮田市黒浜1045-1

TEL 048-764-3881

FAX 048-764-7788

H P <http://minuma-hukushi.com/>



書：関口 忠司

## 巻頭コラム

新入所施設 「はれ」について

大地開所から十六年半。みぬま三ヶ所目の入所施設「はれ」の竣工式に出席しました。来賓の皆様方のお祝辞から川口地域の福祉拠点となるように、との多くの期待を感じました。竣工式から七ヶ月間、川口太陽の家に向くたびに建設現場に足が向き、ワクワクしながら眺めていました。特に暮れ、二階の最上部に「無事故の歳末、明るいう正月」と大きな幕が張られているのを見て、みぬまの福祉理念をしっかりと受け止められた会社の「この施設無事完成を」との意気込みに感じました。好天に恵まれ急ピッチに仕事が進み、一時は七十人も職人さんが仕事されているとお聞きしました。駐車場に水戸、多摩、土浦、つくば等のナンバープレートを見て納得しました。みぬまの歌「あしたへ」の歌詞に「君は生きる願いを求めここに来た……手をつないでいこう。」とあります。はれに集った皆さん、本当におめでとうございませう。

白幡 三保子（家族）

ありがとう会

3月27日、大地から異動をする松崎さん、小原さん、島田さんの3人に、仲間から「ありがとう会」をおこないました。

毎回退職や異動をする職員には大地の授産製品の石けんやさりを製品、花束をプレゼントしていますが、今回は何か違ったものを・とみんなで考え、仲間一人ひとりのメッセージに写真を添えたアルバムを作ることに決めました。いざ3人の職員にメッセージを書くとなると、なんて書こうかひたすら悩む仲間、書きたいことが多すぎて紙いっぱいになっている仲間、その職員をイメージした絵を描く仲間など、みんな様々です。のんびりの時間や食事の後のちょっとした時間を使い、それぞれ仕上げていきます。3人の職員に気が付かれないようにこっそりと、

ちょっとしたスリルも楽しみつつ完成させていきました。

ありがとう会当日、急遽でしたが仲間を代表して関口さんが司会を引き受けてくれました。関口さんの饒舌な進行のもと、まず初めに異動の職員から仲間たちへ、それぞれメッセージがおくられました。これまでの大地での仕事を振り返り、楽しかったことや辛かったこと、これからの異動先でのこと…大地の仲間達への思いがたくさん詰まった言葉が聞かれました。次に、仲間達にも順



番にマイクを渡し、それぞれへ感謝の気持ちを伝えていきます。「ありがとう」や「また遊びに来てね」と伝える仲間、「こんなことがあったね…」と涙ながらに職員との思い出を振り返る仲間もいました。そして家族会から村上さん、白幡さんも来ていただきました。ありがとうございました。

最後に仲間達からアルバム、花束、授産製品のプレゼントです。歴代のケース担当の仲間が代表して渡してくれ、「こんなのいつ作ってたの？」と3人もビックリした様子。仲間と職員の想いのこもったプレゼントを喜んでくれ、みんなで頑張ってきたなあと思いました。そしてなんと今回、異動3人の職員から、サプライズプレゼントとして紅茶とねずみのゲームをいただきました。最近の休日のお茶会ではいただいた紅

茶を飲んだり、ねずみのゲームでみんなで遊んでいます。3人もありがとうございました！

今回は3人の職員が大地を離れることになり、仲間はもちろん職員も寂しい気持ちと不安な気持ちでいっぱいです。でも違う施設にいても大地の様子が届けられるよう、私たちも精一杯頑張っていきたいと思えます。松崎さん、小原さん、島田さん、ありがとうございました。またいつでも遊びに来てくださいね！

面来 愉（職員）



## 辞令交付式

皆さんこんにちは。新年度が始まり一ヶ月が経ってしまいました。が、いかがお過ごしでしょうか。

私のこの一ヶ月は、新しく入った職員に様々な事を伝える中で、自分も改めて気付かされる事やハツとする事が多く、あつという間の日々でした。

みぬま福祉会では4月1日に辞令交付式が行われました。晴天に恵まれ、桜がきれいに咲く中、新しく入職する職員や、別の地に異動し、気持ち新たに出発を迎える職員、新たに役職に就く職員が揃い、理事長から辞令を言い渡されました。

辞令を言い渡された後、新任職員一人一人からあいさつがありました。初々しさの中に、これからの期待や希望が見え、何よりも仲

間を思った言葉のあふれるあいさ

つばかりで、これから一緒に働くことが楽しみになる頼もしい言葉ばかりでした。

その後は仲間と家族からの挨拶があり、職員に対する思いや、胸が温かくなるような新しい職員へのへの激励が話されました。みぬま福祉会をこれから一緒に作りあげていく一員として職員だけでなく、仲間のみんなや家族からも歓迎のあいさつがあり、心温まる辞令交付式でした。

これから一緒に働いていけることを楽しみにしています！

岡部 栞（職員）



## 団体交渉

3月28日、労働組合の団体交渉がはすの実作業所にて行われました。当日は、みぬま福祉会分会から50名ほどの組合員、法人、各事業所の管理者が参加しました。

団体交渉では職員の処遇改善の要望をはじめ、それぞれの事業所の実態と要望を伝える機会となり、労使間、各事業所間で実情を共有する機会となりました。

みぬま福祉会分会では、①労働条件の改善と仲間の処遇改善の課題を一体のものとして活動する②憲法25条を守り、公的福祉制度を拡充のために運動する③憲法9条を守り、平和で安心な暮らし作りのために活動する④同じ思いをもつものと手を取り合って、同時にたくさんの人と手を取り合えるように活動するという、4つの方針

を掲げ活動しています。

職員の働きやすい職場づくりは、仲間にとっても働きやすい環境や安心感のある生活に繋がっていくのだと思います。

団体交渉での要望すべてを解決していくためには、現在の福祉施策を大きく変えていかななくては現は困難です。

法人と職員、仲間、家族が手ぎゅっと繋ぎ活動をしていくこと、訴えていくことがなにより大切なことで、みぬま福祉会分会としても福祉職場の実態、私たちの目指しているものを発信し、社会福祉の向上に向けて運動や学習に更なる力を入れていかなければと思っています。

金子 知幸（職員）

新任職員あいさつ

皆さん初めまして。4月から新任職員として大地で働くことになりました、宮本歩実と申します。

千葉県で生まれて、その後は、クレヨンしんちゃんで有名な埼玉県春日部市で育ちました。今年の3月までは、巣鴨の大学に通い、社会福祉を学んでいました。ディズニーが好きで、ディズニーの映画を観ることも好きですが、実際に行くことも好きです。

大学1年生のとき、みぬま福祉会のコンサートでボランティアをさせていただいたことがきっかけで、みぬま福祉会を知りました。それから、白岡にある太陽の里では宿直のアルバイト、大地ではボランティアをさせていただくなかで、私もみぬま福祉会で働きたいと思うようになりました。

大地で働きはじめ、毎日分からないことや不安なことがたくさんあり、仲間や家族、職員の皆さんに助けられてばかりです。また、「がんばってね」「ゆっくりでいいよ」などと声をかけていただくことがあり、その言葉がとても嬉しいです。

まだまだ分からないことばかりですが、一つひとつ丁寧に覚えていきながら、皆さんと一緒に頑張りたいと思っています。これからよろしくお願い致します。

宮本 歩実（職員）



この度、大地で新卒採用として職員になりました、小林颯太といえます。

最初に大地の仲間の皆さんと会ったのは今から約一年半ほどの介護実習の時でした。不安ながらも、職員のみなさんや仲間の皆さんたちは笑顔で色々な事を教えてくれて、一緒に活動をするのが楽しかったのを今でも覚えています。

そして実習が終わり、一人の仲間に「大地でアルバイトをしない？」と誘われたことをきっかけに、宿直として年間勤めさせていただきますました。

この一年間で多くの仲間と夜間の生活を共にしてきて、やはり夜だけではなく、一日を通して活動や仕事など様々な場面で関わりたいと思ったのが、正規職員に応募

することの決め手となりました。

大地に採用が決まり、これから仲間のみなさんと毎日の生活を共にできること、仲間が仕事に一生懸命取り組む姿を見れる、そして関われる事が本当に楽しみです。

今は分からないことや不安なこともある中、仲間たちの素敵な笑顔にとっても励まされています。

早くいろいろなことをおぼえて、皆さんのお力になれるよう頑張りますので、よろしく願います。

小林 颯太（職員）



情勢を共有しよう きょうざれん

■不本意な法律の水準：「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律案」が可決、

成立しました。党派を超えて法案つくりが進められてきたことを歓迎しながらも、他方で一時金支給法案が表面化して以降、三つの点で強い危機意識を持っています。一点目、国の謝罪ですが、立法院と行政府のそれぞれが、もしくは合同で法案の作成に先立って被害者に対する明確な謝罪宣言をすべきではなかったでしょうか。真摯な反省と謝罪の中にこそ、個々の被害者の尊厳と人権を回復するための新たな法律の土台が作られるのであり、再発防止が約束されるのです。安倍総理大臣より、法律の成立直後に「反省とお詫び」の談話が発表されましたが、法律の前文をなぞるにとどまり、またタイミングの面からも被害者の気持ちや期待とは大きくずれたものです。遅きに失した感はある

りますが、立法院としてもその総意で謝罪の決議を行なうべきであり、今開かれている通常国会の会期中での具体化を求めます。

一点目の法律の内容ですが、重要事項の大半で、被害者ならびに私たちの主張は聞き入れられませんでした。このこと象徴が、補償額の水準です。被害者の多くは、金銭の問題ではないと考えているに違いありません。しかし、今となつては補償額の水準でしか謝罪の方法はありません。その水準が、法律において「一時金320万円」と明示されました。法的かつ強制的に「未来の生命」が奪われた被害者への代償がこの程度というのは、人権侵害の上塗りと言っほかありません。この他、被害を及ぼした責任の主体があいまいであること、違憲性に触れていないこと、補償の対象範囲が不十分なこと、補償申請の方法に公平性や確実性がないこと、被害認定に客観性が欠け

ること、国から独立した検証の条件が確保されていないこと等々、欠陥や問題点が余りに多すぎます。

三点目の審議の進め方ですが、この点でも禍根を残しました。超党派議員連盟において、また与党において法律の内容が作成されましたが、公式な検討作業は密室で行なわれました。被害者や関係者の法案の決定過程への参加は許されませんでした。審議が国会の場に移されたとしても、被害者や多くの障害当事者が希望していた、「わかりやすい言葉をつかって、ていねいな審議」とはほど遠いものでした。被害者などによる参考人というかたちでの意見表明の機会も拒まれました。障害者権利条約の制定過程でくり返された「私たち抜きに私たちのことを決めないで」の観点はすっかり抜け落ちてしまいました。当事者不在の「全会一致」と言われても仕方がないのではないのでしょうか。以上、被害者への対応の不十

分さと一時金支給法の問題点を概観してきました。これらから見えてくるものがあります。それは、「障害者だからこのように扱われたのでは」ということです。

例えば、補償水準については、ハンセン病や薬害エイズの被害者へのそれとは大きな落差があり、生殖能力を失った交通事故の最低賠償とも数倍の開きがあります。検証体制についても同様のことが言えます。多くの被害者は自らの意思を主張できません。だからこそ、立法院や行政府などの公的な機関は、より本人を守る立場に立たなければなりません。それが逆の対応になってしまいました。このような差別的取扱いに対して深い失望と憤りを禁じえません。残念ながら、優生保護法の被害者に対する国会の対応は冷たいままで終わってしまいました。しかし、被害者の尊厳と人権を回復する運動はこれで終わったわけではありません。

# なかまと

# みんなの

# 輪



近野茂治の  
今月のイイネ！ 



たくおくと  
ボールであそんだよ！  
上手に投げたよ！



詩のコーナー

ちびっこの  
おともだち

いーいとこです

いーとこです

ここのは、たーとこです

みんな、いーとこ、たーとこ、いーとこ

たーとこのとこに、いーとこ

たーとこのとこ、いーとこ、いーとこ



やりまごの  
みんなぞ



# まりこの 素敵な日常

うちでねていました。  
すかいらーくでハンバーグ  
をたべました。

まりこ

2019年3月24日  
てあらいうがいをしっから  
やろう。ばいきんまんが  
いるかも。やってね。  
びょうきになるよ。  
わたしはまいにちしてる。

みやよら



4月から宮本さんが大地に  
来ました。  
私の担当になりました。  
うれしいです。  
たくさん話がしたいです。  
何でも聞いてね。

りえ

大地の  
みんなぞ  
おすすめ

# ボランティアの募集

## ウエス・古本・バザー品の

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

### ①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

### ②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力お願いします。

①ボランティア担当（面来、北隅）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう  
ございました!



（順不同）

岩上 めぐみ 様

31年4月度に寄付して下さい下さった方  
ありがとうございました

## 大地の5月の予定

11日	(土)	第三回 埼玉集会 守ろう憲法25条
25日	(土)	職員会議
28日	(火)	大地運動会



今月の担当：松崎 空木（太陽の里）

4月から太陽の里に異動しました松崎です。大地から近く、職任分離の仲間たちも通っている場所なので、知ってはいたのですが…。見るのと、実際に働くのとは違いますね。規模が大きく、人も多い。覚えることも多く、毎日必死です。仕事は、風ドラ（ウエス班）のリーダーです。今までの経験を活かし、ウエス仕事に汗しています。

はじめは服薬や入浴で関わる際に上手く接することが出来なかった仲間からも、笑顔が見られるようになりました。最近やっと、里の仲間たちとも仲良くなる事が出来て嬉しいです。まだまだ慣れないことも多いですが、皆と楽しく仕事出来るように、小原さんと励まし合いながら頑張っています。

### 課業より

皆さんこんにちは。年度が変わり、課業にも新たなメンバーが加わり、新生課業としてスタートしました。

今年度も仲間はウエス・軽作業・書・さをりに分かれ、それぞれの活動を頑張っています。昨年度から引き続き、仲間の仕事の時間の職員の不足により、分かれての活動が難しい日が続くことや、メリヤスの材料不足など…課題はたくさんありますが、課業職員だけでなく、大地の職員全員で取り組み、少しでも改善できるよう努力していけたらと思っています！

メリヤスの情報など、どしどし募集中です！今年度もよろしくお願いします。

岡部 栞（職員）



<広報だいち> 広報委員会（職員） 面来・安藤・岡部・高篠  
（仲間） 田村・神永・土屋莉恵・関口・近野・戸谷